きょうかいがっこうコーナー　　2021 年 10 月 10 日

年間28主日　　マルコ 10.17～27

やっときょうかいにいくことができるようになりましたね。みなさまおげんきでしたか、これからはごミサであいましょう。

「そのとき」イエスがたびにでようとされると、あるひとがはしりよって、ひざまずいてたずねた「よいせんせい、えいえんのいのちをうけつぐには、なにをすればよいでしょうか。」イエスはいわれた。「なぜ、わたしを『よい』というのか。かみおひとりのほかに、よいものはだれもいない。「ころすな、かんいんするな、ぬすむな、ぎしょうするな、うばいとるな、ふぼをうやまえ」というおきてをあなたはしっているはずだ。」するとかれは、「せんせい、そういうことはみな、こどものときからまもってきました」といった。イエスはかれをみつめ、いつくしんでいわれた。「あなたにかけているものが一つある。いってもっているものをうりはらい、まずしいひとびとにほどこしなさい。そうすれば、てんにとみをつむことになる。それから、わたしにしたがいなさい。」そのひとはこのことばにきをおとし、かなしみながらたちさった。たくさんのざいさんをもっていたからである。
≪23～27≫はぶきます。

このはなしは、かねもちのせいねんのはなしです。かれはおかねでてんごくがかえないことをわかっていましたが、まいにちのせいかつのなかで、まんぞくしていなかったようでした。わたしたちにんげんはだれもがしあわせのなりたいとねがっています。

おかねがたくさんあればしあわせになる、
ともだちがたくさんいればしあわせになる、
ゲームをたくさんもてばしあわせになるとか、おもうかもしりませんね。しかしまんぞくできないからたりないものをいつもさがしているのです。
それぞれのひとによってちがいますが、まいにちせいかつしていくことによってかわってくるかもしりません。

きょうのふくいんのせいねんもなにかさがしていたようですね。イエスさまのへんじは、かれにとってたいへんなこたえだった。「あなたにかけているものが一つ、もっているものをうりはらって、まずしいひとにほどこしなさい。そうすればてんにとみをつむことになる。」

イエスさまはわたしたちにもおなじようにこえをかけてくださっています。ぼく、わたしにイエスさまはなにをいいたいのでしょうか、「まわりのひとのことをだいじにしてね、こまっているひとをたすけてね、おもいやるこころをわすれていませんか、

おもいやるこころをわすれてしまって、かみさまもわすれることがよくあります。しかし、こんなこころのもちかたであっても、イエスさまはおこりませんよね、はんたいにせいねんとおなじように、やさしいめで、わたしたちをおおきなあいで、つつんでくださる。
きょうのふくいんでたいせつなことは、じぶんがかけていることにきづくこと、できごとのなかにイエスさまのあいをさがしつづけること、ひととのであいのなかでほんとうのしあわせになることをイエスさまがおしえてくださっているとおもいます。
イエスさまはいつもわたしたちとともにいることをわすれないでね。

ぬりえ